

腎臓専門医の研修単位認定のための セルフトレーニング問題

平成15年学術総会にて、セルフトレーニング問題に解答し、60%以上の正答が得られた腎臓専門医の方々に研修単位として5単位を認定することが決定されました。

平成26年度として、セルフトレーニング問題を掲載します。解答用紙（あるいはコピー）に答えを記入して、日本腎臓学会事務局に郵送してください。その際に、手数料を2,000円振り込んでください。振込みが確認された後で採点を行います。

詳細は下記手順を参照してください。

手 順

問題（日腎会誌56巻5号掲載）に解答し、郵送。

手数料2,000円振り込み *振込取扱票には必ず個人名を入れてください。

郵便局にて各自記入の上お振込下さい	
口座番号	00130-6-548628
加入者名	(一社)日本腎臓学会 専門医制度委員会
通信欄	セルフトレーニング問題手数料として
払込人住所氏名	連絡先・氏名を記入して下さい

締め切り：平成26年9月29日（月）必着

正解と解説は日腎会誌56巻8号（11月末発行予定）に掲載します。

掲載後、採点結果と単位認定証を郵送します。認定単位数は、学会に自動的に追加更新いたします。

ご不明な点がありましたら、事務局：専門医制度委員会担当 西村までご連絡ください。ただし、それに対する回答は日腎会誌56巻8号（11月末発行予定）が発行されてからとなります。

*現時点ではセルフトレーニング問題は専門医更新のための必須条件とはなっていませんが、積極的な応募をお待ちしております。

解答用紙送付先

〒113-0033 東京都文京区本郷3-28-8 日内会館

(一社)日本腎臓学会・専門医制度委員会 宛

卒前・卒後教育委員会 委員長：今井 裕一

セルフトレーニング問題担当：平和 伸仁

長谷川みどり

症例

65 歳，男性

現病歴：生来健康で健診でも異常を指摘されたことはなかった。1カ月前から38℃の発熱が持続し全身倦怠感，食思不振のために来院した。

入院時検査：検尿；蛋白尿2+，潜血2+，WBC 15,000/ μ L，Hb 8.2 g/dL，血小板34万/ μ L，BUN 58 mg/dL，Cr 4.8 mg/dL，CRP 5.8 mg/dL，腎生検では60%の糸球体に細胞性半月体が認められ，蛍光抗体法の結果はIgGが図1のごとくであった。

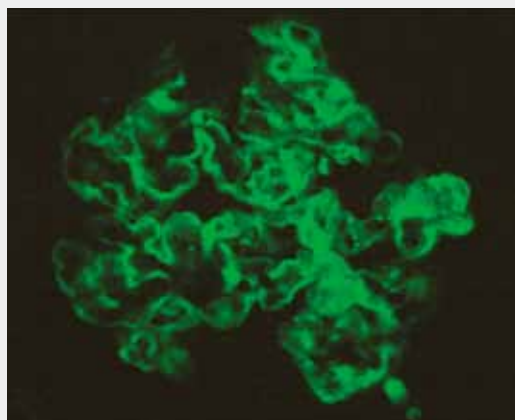


図1 蛍光抗体所見

問題1 この患者のIgGが反応する物質はなにか。1つ選べ。

- a. ネフリン
- b. ポリシスチン
- c. IV型コラーゲン
- d. プロテイナーゼ3
- e. ホスホリパーゼA2受容体

問題2 今後，この患者に起こりうる病態はどれか。1つ選べ。

- a. 脳出血
- b. 肺出血
- c. 腎梗塞
- d. 心筋梗塞
- e. 深部静脈血栓症

問題3 この患者の治療法として妥当なものはどれか。2つ選べ。

- a. 血漿輸注
- b. 血漿交換
- c. ヘパリン投与
- d. ワルファリン投与
- e. ステロイドパルス療法

症例

21 歳，女性

現病歴：2 年前から関節痛があり近医で関節リウマチの診断で NSAID を処方されていた。2 週間前から顔面・頬部に皮疹が出現し，1 週間前から発熱が持続するために受診した。受診時の尿検査で蛋白 2+，潜血反応 2+があり，尿沈渣で赤血球 5~10/hpf，白血球 10/hpf，硝子円柱，赤血球円柱がある。

問題4 この患者で最も重要な質問を 1 つ選べ。

- 朝に手がこわばりますか？
- 口が渇くことはありませんか？
- 寒いところで手が白くなりますか？
- 日光に当たると具合が悪くなりますか？
- 立ち上がるときに不自由さを感じますか？

検査所見：TP 5.5 g/dL, Alb 2.5 g/dL, BUN 23.8 mg/dL, Cr 1.2 mg/dL, 尿酸 6.8 mg/dL, Na 135 mEq/L, K 3.8 mEq/L, Cl 105 mEq/L, WBC 2,800/ μ L, RBC 380 万/ μ L, Hb 11.0 g/dL, Ht 39 %, 血小板 9.3 万/ μ L であった。

問題5 この患者で異常となる可能性が高いものを 2 つ選べ。

- 抗 dsDNA 抗体
- 抗 Scl-70 抗体
- 抗リン脂質抗体
- 抗好中球細胞質抗体
- 抗セントロメア抗体

入院後，腎生検を行ったところ図 2 のような所見であった。

問題6 合致するものを 1 つ選べ。

- 結節性病変
- 半月体形成
- ヒアリン様塞栓
- 分節性壊死病変
- ワイヤーループ病変

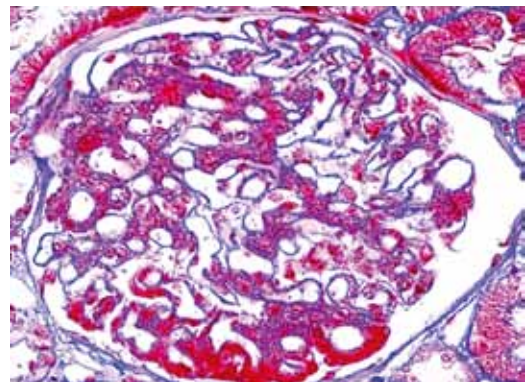


図 2 AZAN 染色，400 倍

症例

48 歳，男性

主 訴：腹部不快感

現病歴：腹部不快感あり近医を受診した際に腎嚢胞を指摘され受診した。

家族歴：祖父母：脳卒中，糖尿病，父：脳梗塞，母：パーキンソン病，腎不全，母の兄：腎不全で血液透析中

既往歴：27 歳から高血圧指摘

個人歴：アルコール 機会飲酒，タバコ吸わない。

腹部 CT 検査を行ったところ図 3a, b のようであった。

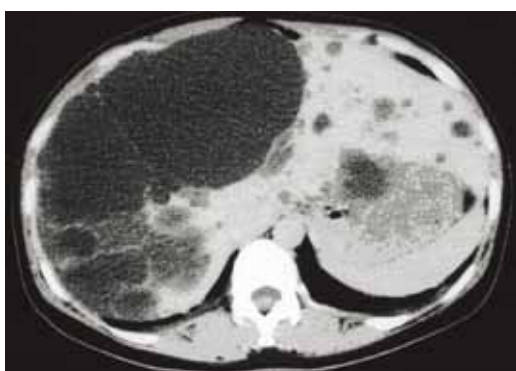


図 3a

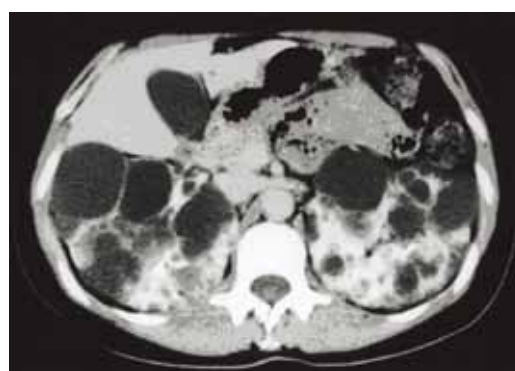


図 3b

問題7 この患者の遺伝様式として正しいものはどれか。1 つ選べ。

- 常染色体劣性
- 常染色体優性
- X 染色体劣性
- X 染色体優性

問題8 この患者で合併する可能性が高いものはどれか。2 つ選べ。

- 感音難聴
- 大腸憩室
- 皮脂腺腫
- 水晶体混濁
- 僧帽弁逆流

問題9 この疾患で進行を抑制する可能性が高いものはどれか。1 つ選べ。

- ACE 阻害薬
- ループ利尿薬
- Ca チャネル拮抗薬
- 副腎皮質ステロイド薬
- ADH-V2 受容体拮抗薬

症例

25歳，女性

既往歴に腎疾患，高血圧はない。1月1日を最終月経として妊娠が成立した。8月1日に産科で尿蛋白の指摘を受け，内科を受診した。

身体所見：身長 160 cm，体重 50 kg（非妊娠時 45 kg），血圧 150/90 mmHg

尿所見：蛋白（3+），潜血（-），糖（+）

血液生化学所見：Ht 35%，総蛋白 6.5 g/dL，クレアチニン 0.6 mg/dL。

問題10 正しいのはどれか。1つ選べ。

- a. 子癇である。
- b. 体重増加は多すぎる。
- c. 現在は妊娠7カ月である。
- d. 直ちに妊娠の中断をする。
- e. 妊娠高血圧症候群である。

問題11 1週間後，さらに血圧が上昇し，170/100 mmHg になった。

最初に使用する降圧薬は次のうちどれか。2つ選べ。

- a. フロセマイド
- b. アテノロール
- c. カプトプリル
- d. ニフェジピン
- e. α メチルドーパ

問題12 正常妊婦に比べ，本疾患で低値となりやすいのはどれか。1つ選べ。

- a. 尿酸
- b. カリウム
- c. アルブミン
- d. コレステロール
- e. ヘマトクリット

症例

69 歳，女性

現病歴：高血圧があり外来通院中。2 年前に脳梗塞に罹患したが，機能は回復していた。降圧薬を内服し外来血圧は 160/80 mmHg 程度であった。数日前より尿路感染による発熱を契機として食事が摂れず，ぐったりしてきたとのことで救急搬送された。

身体所見：推定体重 50 kg 程度。臥位血圧 110/66 mmHg，脈拍 110/分，体温 37.8°C

尿比重 1.030，尿中 Na 13 mEq/L，尿中 Cr 50 mg/dL

血液検査：Na 130 mEq/L，K 5.0 mEq/L，Cl 96 mEq/L，TP 7.0 g/dL，Alb 4.4 g/dL，BUN 45 mg/dL，Cr 2.0 mg/dL，血糖 230 mg/dL，HbA_{1c} 6.0 %

動脈血ガス分析：pH 7.23，PO₂ 75 Torr，PCO₂ 33 Torr，HCO₃⁻ 14 mEq/L

問題13 FE_{Na}として最も近い値はどれか。

- a. 0.1
- b. 0.5
- c. 1.0
- d. 1.5
- e. 5.0

問題14 酸塩基平衡に関して妥当なものはどれか。1つ選べ。

- a. アニオンギャップ正常の代謝性アシドーシス
- b. アニオンギャップ正常の代謝性アシドーシス＋呼吸性アルカローシス
- c. アニオンギャップ増大の代謝性アシドーシス
- d. アニオンギャップ増大の代謝性アシドーシス＋呼吸性アルカローシス
- e. アニオンギャップ増大の代謝性アシドーシス＋呼吸性アシドーシス

問題15 追加検査で異常となる可能性の高いものはどれか。1つ選べ。

- a. ADH
- b. 血漿浸透圧
- c. 血清乳酸値
- d. 尿ケトン体
- e. 血清 Ca 値

問題16 最も適切な輸液はどれか。1つ選べ。

- a. 5% ブドウ糖液
- b. 生理食塩液
- c. 2号液
- d. 3号液
- e. 4号液

問題17 腎不全時でも投与量を中止あるいは減量する必要のない薬物はどれか。

1. 塩酸ピオグリタゾン
 2. グリベンクラミド
 3. 塩酸メトホルミン
 4. リナグリプチン
 5. アカルボース
- a. (1, 2) b. (1, 5) c. (2, 3) d. (3, 4) e. (4, 5)

問題18 連続携行式腹膜透析 (continuous ambulatory peritoneal dialysis : CAPD) 療法において腹膜の限外濾過量を低下させる因子はどれか。2つ選べ。

- a. 低血糖
- b. 腹膜炎
- c. 残腎機能の低下
- d. 高コレステロール血症
- e. リンパ組織のブドウ糖吸収

問題19 CAPD 療法に続発する被嚢性硬化性腹膜症 (encapsulating peritoneal sclerosis : EPS) でみられるのはどれか。

1. 嘔吐
 2. 血性腹水
 3. 腹膜石灰化
 4. 除水過多
 5. 腸管ぜん動音亢進
- a(1, 2, 3) b(1, 2, 5) c(1, 4, 5) d(2, 3, 4) e(3, 4, 5)

問題20 基礎体重 50 kg の維持血液透析患者が A 香港型インフルエンザに罹患した。リン酸オセタミビル (タミフル) の正しい投与量はどれか。1つ選べ。

- a. 1カプセルを1日1回, 1日だけ
- b. 1カプセルを1日2回, 1日だけ
- c. 1カプセルを1日1回, 5日間
- d. 1カプセルを1日2回, 5日間
- e. どれも正しくない

問題21 同一ダイアライザーを使用した場合、血液透析と比較して血液透析濾過で大きくなるものはどれか。2つ選べ。

- a. 小分子のクリアランス
- b. 低分子量タンパクの除去効果
- c. アルブミン損失量
- d. アミノ酸損失量
- e. カルニチン損失量

問題22 血液透析患者で、血清 P 値、血清 Ca 値、血清 PTH 値の生命予後に対する寄与度の高い順として正しいものはどれか。

- a. $Ca > P > PTH$
- b. $P > PTH > Ca$
- c. $P > Ca > PTH$
- d. $PTH > Ca > P$
- e. $PTH > P > Ca$

問題23 透析アミロイドーシスが原因と思われる骨病変はどれか。

- 1. 線維性骨炎
 - 2. 骨軟化症
 - 3. 無形成性骨症
 - 4. 骨嚢胞病変
 - 5. 破壊性脊椎関節症
- a(1, 2) b(1, 5) c(2, 3) d(3, 4) e(4, 5)

問題24 腎移植をした後に再発しやすい腎疾患はどれか。2つ選べ。

- a. IgA 腎症
- b. 膜性腎症
- c. ループス腎炎
- d. ANCA 関連糸球体腎炎
- e. 巣状分節性糸球体硬化症(FSGS)

問題25 腎移植後にみられる尿路感染症の原因となる病原体はどれか。2つ選べ。

- a. BK ウイルス
- b. アデノウイルス
- c. コロナウイルス
- d. ニューモシスチス
- e. サイトメガロウイルス

平成26年度 腎臓専門医 セルフトレーニング問題 解答用紙

会員番号	
病院名 (所属)	
名 前	
振込日*	平成26年 月 日

解答に○印をつけて下さい。

問題 番号	解 答 欄	問題 番号	解 答 欄
1	a b c d e	14	a b c d e
2	a b c d e	15	a b c d e
3	a b c d e	16	a b c d e
4	a b c d e	17	a b c d e
5	a b c d e	18	a b c d e
6	a b c d e	19	a b c d e
7	a b c d	20	a b c d e
8	a b c d e	21	a b c d e
9	a b c d e	22	a b c d e
10	a b c d e	23	a b c d e
11	a b c d e	24	a b c d e
12	a b c d e	25	a b c d e
13	a b c d e		

事務局記入欄

点 数	
単位認定	可 不可

* 採点結果送付先は日腎会誌送付先住所とさせていただきます
振り込み確認後採点を行います